

青森県住生活基本計画（改定）の全体構成

（参考）現行計画の視点、目標及び基本的な施策

視点	目標	基本的な施策
住まい手	目標1 子育て世帯や高齢者を地域で支え合う住環境の形成	1 若年・子育て世帯等が安心して暮らせる環境づくり 2 増加する高齢者のための住宅等のニーズへの対応 3 豊かで安全な地域コミュニティの形成
	目標2 公共と民間、それぞれの役割に応じた住宅セーフティネットの形成	1 公共・民間の役割を踏まえた重層的な対応 2 老朽化した公営住宅ストックの更新及び有効活用
住環境	目標3 良質な住宅を次世代につなげる社会の実現	1 リフォーム市場の整備促進 2 良質な既存住宅ストックの流通促進 3 空き家の適正管理、不良な空き家の解体・撤去の促進
	目標4 青森の風土に根ざした安全で健康な住環境の形成	1 安全で健康な住宅の形成 2 住宅性能を低下させない維持管理の促進 3 地域の災害対策の促進 4 持続可能なまちづくりへの対応
住宅関連産業	目標5 伝統と革新の合わせ技による住宅関連産業の振興	1 住宅関連技術者の確保 2 建築技術者等の育成 3 住宅関連産業の振興 4 県産材の活用
住教育	目標6 ライフスタイルに応じた住生活を実現するリビングリテラシーの醸成	1 学校教育における住宅や住まい方の学習の推進 2 若年・子育て世帯から高齢者まで住宅や住まい方に関する学習機会の充実 3 生涯にわたり無理なく住まいを選択できる環境の醸成

- 改定のポイント
- ①全国計画には無い独自の表現として、視点に「住まい手」、「住環境」を追加。
  - ②気候風土に根ざした住環境の実現を目指し、気候風土や地域の職人の育成、県産材の活用等を位置付け。
  - ③住まい手を育成するための「住教育」の視点、施策を位置付け。

第1章 青森県の住宅事情

第1回委員会参考資料2「青森県の住宅事情」を再整理。

青森県の住宅事情に関わる現状を整理し、目標設定のための課題を明らかにする。

第2章 住宅施策の基本方針と目標

住まい手・コミュニティ	目標1 多様な世代が共生できるコミュニティの形成(論点2)
	目標2 重層的なセーフティネットの形成(論点3)

住宅・住環境	目標3 健康に暮らせる良質な住宅ストックの形成(論点8・4・6)
	目標4 安全に暮らせる住環境の形成(論点1・5)

住宅関連産業	目標5 地域の住宅関連産業の振興(論点7)
--------	--------------------------

住教育	目標6 賢い住まい方を実現するリビングリテラシーの向上(論点9)
-----	-------------------------------------

住宅事情に関わる現状及び課題の整理を受け、その課題に対応した目標を、「住まい手・コミュニティ」、「住宅・住環境」、「住宅関連産業」「住教育」の4つの視点と、6つの目標を設定。

第3章 基本的な施策

- 1 子どもを産み育てやすい住まいづくり→子育て向け住宅、支援制度
- 2 高齢者等が安心して暮らせる住まいづくり→高齢者向け住宅、支援制度
- 3 多世代が共生できる環境づくり→支援施設、居場所づくり

- 1 きめ細やかな居住支援の推進→体制づくり、セーフティネット住宅、福祉連携、支援施設
- 2 老朽化した公営住宅の整備及び有効活用→ハード改修・更新、民賃活用

- 1 社会環境の変化に対応した良質な住宅ストックの形成→ガイドライン、長寿命化、低炭素化、健康リフォーム、民賃リフォーム
- 2 良質な既存住宅ストックの流通促進→中古住宅市場

- 1 安全な住宅・住宅地の形成→耐震、防災・減災、居住誘導
- 2 豊かな住環境の形成→景観、バリアフリー、防犯
- 3 増え続ける空き家等の解消→適正管理、除却、利活用、担い手育成

- 1 住宅関連技術者の確保→出前授業、多様な職種の担い手確保
- 2 建築技術者等の育成→講習会等知識・技術の向上
- 3 住宅関連産業の振興→新技術への対応
- 4 県産材の活用促進→供給体制整備、県産材利用増、公共施設木質化

- 1 学校教育における住教育の充実→住教育継続
- 2 多様な世代に向けた住まい方についての学習機会の充実→賢い住まいの選択、性能向上リフォーム、DIY等

目標を達成するための基本的な施策を目標毎に設定。現行計画の施策を継続しつつ、公民連携による居住支援の強化や健康に焦点を当てた住宅リフォーム等、より細やかに施策を展開。また、頻発する災害への備え、増え続ける空き家への対応等、今日的な課題へも対応する。

第4章 戦略プロジェクト

①増加する空き家への対応  
空き家利活用推進プロジェクト  
→市部・町村部における空き家の現状把握。季節居住や支援施設等、地域に応じた利活用の提案。利活用の担い手育成。

②健康寿命の延伸  
健やか住宅普及促進プロジェクト  
→空き家を活用して断熱リフォーム。健康に寄与する住宅の普及啓発。

③リビングリテラシーの向上  
シニア世代リビングリテラシー向上プロジェクト  
→健康リフォームや住まいの終活等、プレシニア・シニア層に向け住生活を学ぶ機会を提供。

重点的に取り組む施策を3つの戦略プロジェクトとして位置づけ。①②の効果を③により促進するよう関連付け。